

An aerial photograph of a coastal town and bay, likely in Hiroshima. The town is built on a hillside overlooking the water. In the background, a large fire is visible, with bright orange and yellow flames rising into the sky. The fire is partially obscured by a semi-transparent white circle.

平成16年2月

生口島林野火災

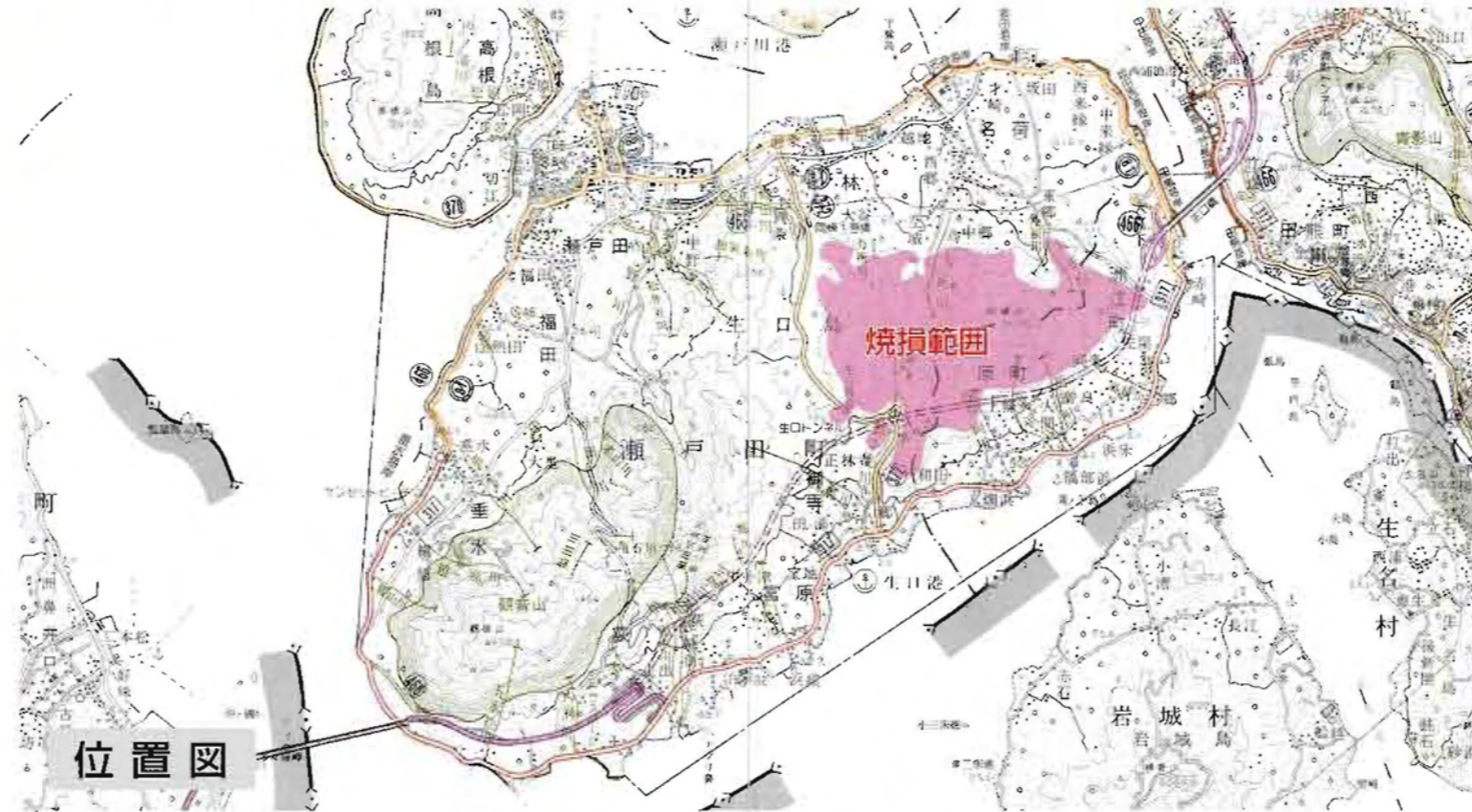
広島県

平成16年2月

生口島林野火災

生口島林野火災について

平成16年2月14日夕刻に瀬戸田町林地区から発生した林野火災は、折からの強風にもあおられ、瀬戸田町名荷・御寺地区や隣接する因島市原町及び洲江町に一気に燃え広がった。一時、火災は民家に数十メートルと接近し、避難勧告も出されたが地元及び周辺の消防機関、自衛隊等の懸命な消火活動により、出火から8日たった23日10時、山林約390ヘクタール（島面積の約13%）を焼損して鎮火した。今回の火災規模（焼損面積）は、昭和53年の安芸郡江田島町（1005ヘクタール）、昭和54年安芸郡倉橋町（420ヘクタール）の林野火災に次ぐ3番目のものとなる。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平15中復第338号）

火災の概要

火災状況

出火場所 瀬戸田町林地区
 覚知日時 平成16年2月14日（土）18時10分頃
 鎮圧日時 平成16年2月18日（水）10時00分（覚知より3日と16時間）
 鎮火日時 平成16年2月23日（月）10時00分（覚知より8日と16時間）
 出火原因 調査中
 発生日時の注意報・警報 強風・波浪・乾燥注意報

被害状況

焼損面積 約390ha
 損害額 調査中
 人的被害 消防団員2名（軽傷）
 住宅被害 なし

避難状況

勧告 17世帯（40名）
 自主避難 8世帯（13名）

体制

広島県の体制
 ・警戒体制
 ・陸上自衛隊13旅団への災害派遣要請
 因島市・瀬戸田町の体制
 ・柱谷林野火災対策本部設置（因島市・瀬戸田町合同）



集中豪雨に備えて

今回の林野火災により、溪流の上流域が著しく荒廃したことから、梅雨や台風の際には、土石流やがけ崩れなどによる土砂災害が発生しやすい状況になっています。大雨に関する情報を聞いたら早めの避難準備が必要です。また、溪流が急に増水することもあります。近くに住んでいる人は洪水警報などにも十分注意してください。



広島県では

広島県では、今回の林野火災に対し、土砂災害の発生を未然に防止する目的から、緊急的に砂防施設（砂防ダム）の設置等について、現在、調査検討を行っているところです。皆様のご理解とご協力をお願いします。

火災直後



砂防施設設置



平成12年度
災害関連緊急砂防事業（瀬戸田町宮原地区）
〔砂防ダムと流路を設置しています。
また別事業により、山腹工（植林）を行なっています。〕

広島県尾三地域事務所建設局

〒723-0015 広島県三原市円一町二丁目4番1号 TEL.(0848)64-2322(代)